



12月に実施した教育活動アンケートへの御協力、御意見ありがとうございました。調査結果をまとめましたので御報告します。

調査項目	対象	R2 7月 肯定的%	R2 12月 肯定的%	R2 数値目標	調査結果から見える課題と対策		
					項目	内容	
1 学校が楽しい	児童	88.7	◇91.7	90	全体	過去4年間の調査結果を比較してみると、児童の評価において本年度が最も高くなっている項目が多くありました(◇印で表記)。今回の結果から、児童の自己肯定感が高まってきている手応えを感じました。 南小の児童は、全体的に素直で真面目に物事に取り組む反面、進んで取り組むことを苦手と感じている子もいます。これは、南の丘学園全体の課題でもあるので、学園の共通実践として「4つの承認」を進めています。①一人一人の存在を大切に、②結果だけでなく、③意欲や④努力の姿を捉え、認めていこうというものです。来年度も、教師が率先して取り組むとともに、児童同士でも認め合う関係づくりを進め、成就感を高めていきたいと考えています。	
	保護者	90.5	95.4				
	教師	100	100				
2 みんなと何かをするのが楽しい	児童	91.8	◇95	90			
	保護者	89.9	95.3				
	教師	100	100				
3 授業がよく分かる	児童	88.4	◇88.7	90			
	保護者	76.3	78.7				
	教師	93.3	93.1				
4 授業に主体的に(進んで)取り組む	児童	◇87.6	84.4	85			
	保護者	74.5	72.9				
	教師	76.7	79.3				
5 話を最後まで聞き、自分の考えを伝える	児童	◇82	80.7	80			
	保護者	63.5	64.6				
	教師	60	65.5				
6 進んで読書に取り組む	児童	81.8	80.9	80			
	保護者	58.4	55.8				
	教師	76.7	93.1				
7 当番や係(委員会)の仕事に責任を持って取り組んでいる	児童	92.8	92.7	新設	1		
	保護者	92.8	94.6				
	教師	90	96.6		2		
8 気持ちのよいあいさつや返事をする	児童	80	◇84.2	85		2	
	保護者	75	74.2				
	教師	50	79.3				
9 学校をきれいにする	児童	◇89.5	89.2	90			
	保護者	81.2	82				
	教師	60	82.8				
10 時と場に応じて「です」「ます」で話す	児童	84.8	◇87	85			
	保護者	70.3	76.6				
	教師	70	78.6				
11 授業開始時刻に席につく	児童	◇87.7	86.5	80	3		
	保護者	88.9	87				
	教師	82.8	69				
12 はきものを整頓する	児童	88.7	86.8	85			4
	保護者	67.8	69.4				
	教師	70	72.4				
13 命の大切さを分かっている	児童	98.4	◇99	100		3	
	保護者	94.2	95.4				
	教師	96.7	100				

2学期は、感染防止対策を第一としつつ、ルー大会や運動会、修学体験など、楽しく充実した活動をできるだけ実施できるように努めてきました。その結果、12月の調査では、「学校が楽しい」「みんなと何かをするのが楽しい」の項目で、児童・保護者ともに、昨年度までと同程度もしくはそれ以上の調査結果に戻りました。

コロナ禍というこれまでにない経験をして、学校で生活することは当たり前ではないのだという思いを高めていることが伝わってきました。保護者の皆様の教育活動への御理解と、感染防止対策への御協力あつてのことと、感謝申し上げます。

「授業がよく分かる」の調査結果が、児童・保護者ともに過去4年間で最も高くなりました。「授業に主体的に取り組む」の数値は、7月の調査と比べるとやや下がりましたが、昨年度までと比較すると、特に児童の調査結果は高い数値となっています。(裏面へ)

	調査項目	対象	R2 7月	R2 12月	R2	調査結果から見える課題と対策				
			肯定的%	肯定的%	数値目標	項目	内容			
14	交通ルールを守る	児童	◇98.2	97.8	100	8 9 10 11 12	本校では、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して、考えを整理するための思考ツールや、グループ学習で意見交換するためのホワイトボード、学級全員の意見を参照するためのタブレットの活用を重点として、授業づくりに取り組んできました。本年度はさらに、単元全体の学習過程の見通しと、評価の基準を示し、児童が到達点に向かって主体的に取り組むことを目指してきました。来年度も、さらなる授業改善に取り組みます。			
		保護者	96.4	95.8						
		教師	100	96.6						
15	好き嫌いなく給食を食べる	児童	◇79.2	74.4	80			本校では、「あいさつ」「美しい学校」「言葉づかい」「時とルールを守る」の4項目を『クローバー運動』と銘打ち、月々の生活目標に掲げて実践に取り組んでいます。児童会や各委員会が担当する項目を分担し、創意工夫を生かした運動や点検活動を展開しています。		
		保護者	73.4	74.2						
		教師	73.3	58.6						
16	目標をもって運動に取り組む	児童	◇87.6	85.7	85				過去4年間と比較して、本年度の調査結果は、4項目で児童の評価が最も高くなっていました。児童は『クローバー運動』を守ろうという意識をもっていることが伺えます。しかし、地域での挨拶や下校時のルール・マナーなど、課題として残っています。地域の方の日々の見守りや旗振りなどに支えられていることを、学校全体として再確認し、公共心・公德心を育てていきたいと思っております。	
		保護者	72.4	74.9						
		教師	75.9	86.2						
17	家で宿題や自主学習に進んで取り組む	児童	85.9	85.5	新設					
		保護者	70.6	69.8						
		教師	82.8	86.2						
18	親子で将来のことについて話す	児童	69.2	65.8	新設					
		保護者	79.1	80.3						
19	テレビやゲームの時間などのルールを決めている	児童	75.7	73.4	新設					
		保護者	72.2	70.7						
20	学校に信頼できる先生がいる	児童	85.9	87.2	90					
		保護者	85.3	84.5						
21	子どもの個性を認め、日頃から会話している	保護者	96.6	96.8						
22	袋井南小が進めている教育を理解している	保護者	88.5	86.3						

【保護者の皆様よりいただいた意見より】

Q 来年度の行事や参観会等は、どのように開催していくのですか。

A 保護者の皆様には、参観人数制限、保護者証提示、検温・手指消毒など、様々なお願いに御理解・御協力をいただいたおかげで、コロナ禍でも本年度の教育活動を行うことができたことを、改めて感謝申し上げます。今後の感染状況が見通せない中ではありますが、別紙『令和3年度行事予定』の通り、現時点での教育活動・行事を計画しました。リレー大会・音楽発表会・運動会につきましては、本年度の実績を踏まえ、昨年度までと開催時期を変えました。

来年度は、懇談会を実施することを想定して、従来の参観会・懇談会を予定しています。また、駐車場につきましては、南コミュニティセンターの駐車場を借用いたしますが、最大100台で他団体も利用する場合がありますので、実家庭数が480世帯であることを踏まえ、2回に分けて実施せざるを得ない状況です。なお、感染状況によっては、本年度同様に地区別開催や廊下からの参観をお願いすることになります。御理解の程よろしくお願ひいたします。

Q 欠席連絡やアンケートのデジタル化について、どのように考えていますか。

A 現在は、近所のお子さんを通じて、欠席届や家庭学習、お便り等を受け渡しすることにより、必要な諸連絡を行うことができ、ありがたく思っています。また、電話連絡を通して、お子さんの状況を確認することもできています。こうした方法のよさを残しつつ、マチコミメールによる欠席連絡の運用も検討していきたいと思っております。

また、保護者の皆様には、本アンケートの提出に御協力いただき、より正確な調査結果を出すことができいております。今後は、Web上で回答いただく方法も、欠席連絡同様に検討して参ります。